

こぶし だより

働こう障害者も
SSKW
働けるんだオレたち



文化班サークル活動の様子 (セルフ・みらい)

CONTENTS

- ① 特集「家族が感じ、考えた障害者自立支援法」… 2P～3P
- ② トピックス …………… 4P～5P
- ③ 評議員から一言 …………… 4P～5P
- ④ ふれんどパーク …………… 6P
- ⑤ こぶしサポーターズ …………… 7P
- ⑥ アドレス・編集後記 …………… 8P

No.303

2006
8

家族が感じ、考えた 障害者自立支援法

特集



障害のある子を生み、育て、そして子どもが成人になってからもなお経済的に扶養義務者としての責任を負う親。障害者自立支援法にどんなことを感じ、考えたのか、率直に語っていただきました。また、こぶし作業所の家族向けアンケートの中で寄せられた疑問・質問・意見もご紹介させていただきます。

とても不安な気持ち

支援費の一割を負担するようになって、給食費を含んで、月平均二二、〇〇〇円をセルフ・みらいに納めています。他に、ヘルパーを依頼。月平均三日、六時間で、二、〇〇〇円ぐらい支払っています。息子は自宅からの通所なので、所得区分は、一般扱いとなっています。もしも身内が長期の通院や入院となった場合、その間ヘルパーを依頼しなければならぬので、医療費のほかに支援費の負担限度額の三七、二〇〇円を支払うことになると思います。これからは、年金は減ることはあっても、増えることはないでしょうから、私は自分たちの老後の心配とともに親と子どもの行く末も心配していて、とても不安な気持ちになっています。負担ゼロから一割負担の支払いは、固定支出がかなり増え、家計を圧迫しています。これ以上絶対に増えることのないように希望します。また、

これからもずっと子どもが安心して通え、体調不良のときは気兼ねなく休めるようにしてほしいし、補助金が減って施設の運営がだめになることのないように、私もできる限り協力しようと思つていますが、施設にもいつばいがんばってもらい、国、県、市にも協力してもらいたいと思います。

(セルフ・みらい 保護者)

私が理解する自立支援法

一 制度の改悪

これまでの身体障害・知的障害・精神障害といった障害種別毎に行われていた福祉サービスが、本法の成立によりサービスを一元化し、必要ときに必要なサービスが受けられると国は声を高らかにするが、一方では多くの問題を残した。

(1) 福祉サービスを受ける多数の方が障害年金をメインとした生活設計の中で利用料・食費の負担は正に

死活問題です。

(2) 負担に耐えられず、これまで受けていたサービスを控えざるを得なくなったこと。

(3) 事業所の収入減―職員にとっては処遇の低下、ひいては利用者への支援の低下。

二 行政への期待

国も地方も莫大な負債を抱えるがゆえ、出費を抑えるのに必死であるが、連日報道される国費の無駄遣いを排し、厳しい環境の中で必死に生きている障害者にもっと眼を向けた障害者施策を展開されることを願うものです。

三 家族が抱える不安

利用者一割負担がいつまで続くのか。消費税・医療費・健康保険税・年金掛金・介護保険料・同負担金等々、一度決められたことはいずれ負担増につながっている現実を目の当たりにし、いずれ利用料のアップは避けられず、将来に大きな不安を感じます。

(こぶし作業所 保護者)

アンケートからの抜粋

(アンケートは八月に実施)

《疑問・質問?》

- 支援法の概要は承知しているつもりですが、財政再建のもとにどうして弱者をいじめるのかからない。
- 事業者の負担増や事務内容の増加など、利用者の負担とともにすべて負担が多くなっています。が、法の意図がわかりません。地方自治体も大変だと思います。
- 障害程度区分の認定で、サービスが今までどおり(以上)に利用できるのか。また、利用費がどのように変わるのか。
- 障害の認定(二次)が行われつつありますが、認定から外れた者はどうなりますか。
- 障害のランクによって受けられるサービスが異なりますか。
- 入所施設で、程度区分が軽いため退所を言い渡されていると聞いていますが、どうなのですか。
- 外出支援、ショートステイは、利用できるのですか。

- 閉鎖するグループホームがあるようですが、こぶしでは大丈夫ですか。
- 障害の判定のときの医師の意見書の必要性がわかりません。
- 自立支援法で一〇月より充実?されたものが施行されるとのことですが、どんなことがどのよう追加されるか知りたいです。
- 自立支援法がよくわかっていません。この法案ができたことによつて、自分たちや施設のメリット・デメリットを簡単な表にして対比していただくとわかりやすく嬉しいです。
- 本法の施行に伴つて、従前の制度と異なる点(保護者にとつて)について知りたい(利用者負担、給食の負担を除く)。

《意見》

- (法律について)特にありませんが、今までよりはいいと思います。
- 負担金について、ある程度仕方がないと思っております。しかし、年金だけで生活していかなければならぬので、家族はうつかり病気になる不安を抱えています。
- 現在の幸せがいつまで続けられるのかと不安もあります。親の元気なうちにはいいのですが、一人になったときの自立支援法は、と考えると不安です。そして佐野市内のグループホームが何所も閉鎖されるなど、将来どのようなになっていくのかも考えさせられます。国がもっと真剣に現場の声を聞いて、早急に改善するよう強く求めます。
- 年金と工賃収入で家賃、措置費などを差し引いたら、余暇などを楽しむための余裕がなくなってしまう。
- サービスがいつまで受けられるのか不安に思う。
- お金を高くしないでください。
- 私たちは老人になったので、むずかしいことは出さないでください。身体があつちこつち悪いのでお願いします。
- 障害者自立支援法との美名のもとに、障害者の年金を元に障害者の生活に負担をかけるのはおかしい。障害者年金額が多い者は、障害の度合いが重いので、

当然自立ができにくいということとを認識すべきである。で、そういう者に負担をかけるべきではない。

● 国が一方的に自治体に相談もせず、福祉を切り捨てるのは絶対許せない。

● この法案を廃案にすべく、各作業所、各障害者施設、各精神障害者の施設・病院また、きょうされん等で署名運動を起こして、また各種障害者の署名を取り、国会に粘り強く陳情運動をする案をねるべきだと考える。

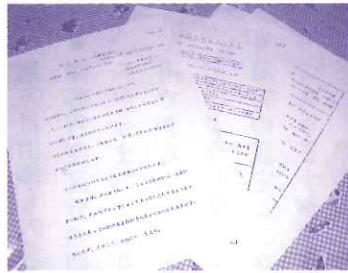
● 国の流れに流されて、言われただけ払うより他ないと思つていきます。自立支援法の勉強会何回かやりました。自立支援法の改善の方法はないのでしょうか。

● 国が決定したことですからあきらめなくてはと、思うのですが、弱い者から生活費を切り詰めさせるということには反対しております。ですから仕事の工賃と負担額が同じぐらいになると良いのですが、私にはむずかしい問題です。

トピックス

「ぶし」作業所

THE ボーナス交渉



4枚にわたるボーナス要求書

七月三十一日ボーナス要求書を所長に渡ししました。

自治会の役員会では、動き出すのが遅くなっってしまった昨年の教訓を生かし、今年はスケジュールをたてて計画的にボーナスについての話を重ねてきました。アンケート

ト作成、アンケート集計、要求書作成、その他細かい部分も利用者主体で行いました。

そのなかで特に力を入れたことは、アンケート結果をふまえた上で、要求項目を理由をふくめて吟味したことです。アンケートには「自分たちの働く環境の改善案」がたくさん提案されていましたが、そのまま要求はできません。できる限り要求が通るように、ただ「欲しい」と主張するのではなく、多くの人が納得できるように理由を考え、文章と

ボーナス要求内容	
1	ぼら(ぶら) こぶしさきょうしよとキッパン・セルブ
2	タイムカード キッパン・セルブとこぶしさきょうしよ
3	おむつおむつ こぶしさきょうしよ
4	きがえばしよ キッパン・セルブ
5	ぼらうし こぶしさきょうしよとキッパン・セルブ

ボーナス要求内容

して表すという作業をしました。必要だという気持ちは大きいけれど、文章とするのは難しく、時間をかけて話し合いました。そして、ほぼ予定通りの日程でボーナス交渉にこぎつけました。下請け作業の収入の停滞や夏季物品販売目標額不達成など、心配な点はありますが、結果が楽しみです。

セルブ・みらい

若賀青年の家。

八月一日(金)とちぎユースボランティア主催による活動の一環として、県内の高校生が福祉施設や教育研修施設を利用しボランティア活動を学ぶ場として、セルブ・みらいに高校生ボランティアが来ました。午前中は、下請け班作業、リサイクル班活動に、それぞれ参加していただきました。とちぎテレビの取材もあり、ボランティアの方も緊張していましたが、作業をしながら利用者とも、すぐに打ち解けていました。午後は若賀青年の家に利用者八名とともにレクリエーションに参加しました。開会式はボランティアも利用者も緊張しているように見えましたが、ゲームが始まると、体育館の暑さを気にすることもなく、みんな楽しく元気にゲームに参加することができました。内容はゲームはだるまさんゲーム、動物園にこうゲーム、ボール集めゲーム、オニ当てゲーム、パラスニート遊びを行いました。だるまさんゲームでは、利用者が、だるまの役となり司会者が「だるまさん、〇〇してください」のとき以外は何も

こぶしの会

評議員から一言

八木 仁様

(株式会社シンデン)



「ぶし」の会への期待・苦言等

高橋所長(けやき作業所)との栃木県中小企業家同友会が縁で、今年から会の評議員を仰せつかりました。本当は、評議員になったばかりですので、原稿はお断りしたかったのですが、各施設を回って見させていただきました。とりあえず、考えられるポイントの二つをあげます。

一、(電動) 工具をそろえる。

日本の製造業では、自分作業で改善することが主流になっています。こぶしの会も自分たちでいろいろと工夫するためには、工具の充実と、使い方の勉強が必要でしょう。まず、電動ドリル、ジグ

しないがルールで、この「だるまさん」がついていないのに手を挙げたり拍手してしまったりして、笑いを誘いました。ボール集めゲームは、赤、黄色、青、緑の中から二色を決めて相手チームより早く集め、五色目となるオレンジは拾わないルール。用意スタートの合図とともに無我夢中で集めます。途中、ボールを入れるカゴが小さい事に気づきボールが入っていた袋を使ったほど。自分のチームのボールを一生懸命集める人、ゆっくり集める人、相手チームのボールを集めている人、みている人、オレンジ色を集めてしまう人、様々でしたが、この時ばかりは体育館が小さく感じるほどでした。オニ当てゲームは、ひとつの輪の中のひとりの動きを他の人が同じように真似をして、そのオニをオニ当て役が当てる事ができれば勝ち。特にオニ役は、その人の個性が動きに表現されていて、真似をする人達は自然と笑顔になっていて、とても楽しい雰囲気でした。閉会式を終え、帰りの車内では、みんな、それぞれ楽しかったゲームの話の内容を、また楽しそうに話をしていたの言うまでもありません。



ボール集めゲームの様子

いばしのときわ荘・くるみ
懇談会

去る八月二六日土曜日、多数の保護者の皆様に

ご参加いただき、ごぶし作業所つくしの里にて「ときわ荘」「くるみ」二つのグループホーム合同保護者懇談会が行われました。

まず、職員から仲間の近況報告、支援計画達成度の説明がなされ、その後質疑応答となりました。形式的な堅苦しい議論ではなく、参加者全員が率直に思いを述べ合える、有意義な時間でした。

続いては、仲間も合流しての昼食会…。メニューはカレーとデザート。そして保護者の方々手づくりの漬物など。自主的に、かつ楽しそうに食事の片付けをする仲間の姿に、保護者のみなさんは、「こんなに成長したのでですね」と喜んでおられました。

少々時間が押ししてしまいましたが、保護者の方から「また、このような場を設けてほしい」との声が多数聞かれ、実りある一日でした。

第2げき作業所&県東ライフサポートセンター
納涼祭
～夏だよー今年も泊まっちゃれ～

昨年に引き続き、今年も芳賀町ロマン花火大会の日に合わせ「納涼祭」を泊りがけで実施しました。すいかわり・バドミントン・花火・食事作りなど参加者二三名で楽しく行いました。

参加メンバーには単身で生活する人、家族と一緒に生活する人、グループホームで生活する人と、みなそれぞれ生活のスタイルは違いますが、「社会」という集団の一員には変わりありません。納涼祭という、いわゆる「遊び」の部分を通し、普段の作業以外の場でも人と人とのつながりを実感

ソ。そして出来れば、金属を切断するスピードカッターか、サンダーは欲しいところです。いずれも安いものは六、〇〇〇円〜七、〇〇〇円で購入できます。

二、事務所、機の整理

大半の職員さんの、机の上は一杯でした。全般的に、書類の多い業種であることは間違いなのですが、整理整頓が悪いようです。これでは、担当の人が休んだときや退職した時に、業務に支障が出ることが想像できます。また、新人が入ってきて、なかなか育たないものです。整理整頓を徹底的に行い、事務の合理化・生産性の向上が望まれます。

し、集団の中の個人(自分)の存在を「生きているんだ〜!」と改めて認識できたのではないのでしょうか。

障害者自立支援法により一〇月から事業移行し、ますます就労移行がささやかれますが、少しでも多くの方が一般就労できる制度・環境を整えていければと思っています。



楽しかったー!

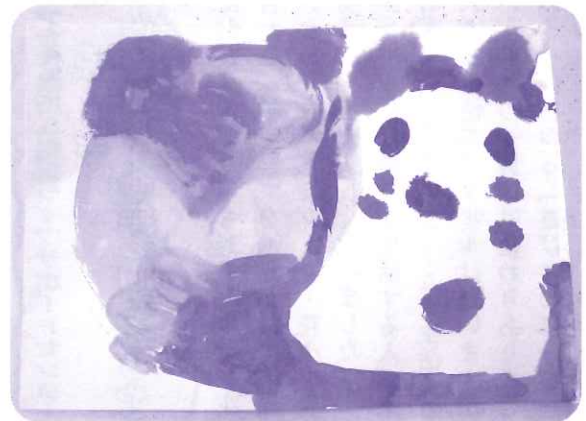
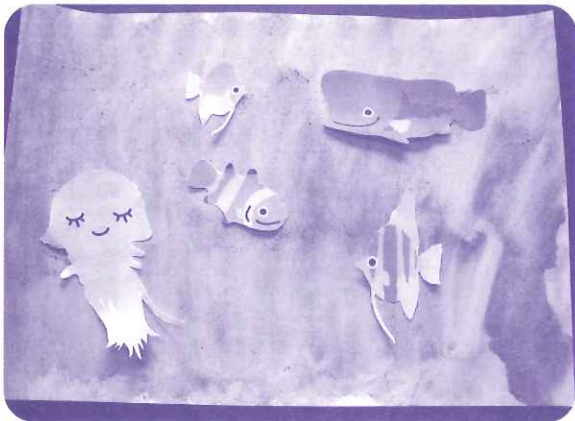


ふれんど パーク

かつどうび
「活動日」 by セルプ・みらい

いし じさく がっき もよう
ペットボトルに石をいれた自作の楽器に模様を
え
つけるべく、絵をかいているときのものです。
しんけん ふんいき
みんなの真剣な雰囲気がつたわるでしょ!?

りきさく
力作です by こぶし・絵画クラブ



ポルトガル語こうざ②



楽摩・ロナルド・カズオさん

Obrigado
(オブリガード)

ありがとう



こぶしSupporters

サポーターズ

後援会 保護者会・ボランティアのページ

～ こぶしの会を地域の大切な社会資源に育てるため、私たちは強力にバックアップします～

ボランティアの紹介 セルフ・みらい

セルフ・みらい開所時から、上三川日産寮などの缶回収作業へご協力いただいている町田かつのさん、増山美津枝さんに感想をいただきました。

私はアルミ缶回収のお手伝いをしています。最初に目に入るのには子供達の顔、今日は笑みがいっぱい嬉しい事があったのかな、ちょっとてれやな男の子、恥ずかしそうに横を向きニコニコ、いつも元気でがんばりやさんや私の顔を見てニコっと笑みをしてくれる女の子、本当にアルミ缶回収に来ている子供達のがんばりは、お母さんもわからないでしょう。今は私より早くなり負けそうというところニコっと笑う。この顔を見ると、私も病気に負けられないとパワーを子供や職員さんに貰います。冬は、あったかいコーヒーや、お茶の差し入れ、この時の子供達の笑顔、私もその一人、とても楽しく会話がなくても顔の様子で疲れがどこかへ飛んで行ってしまふ様な気がします。だから、私はアルミ缶回収が好きなのかもしれません。子供の笑顔、職員さん達のパワーをいただきながら、これからも私の体調がよい限り続けていきたいと思えます。皆、これからもよろしくネ！

町田 かつの

暑さにも負けず、寒さにも負けず、雨にも負けず、匂いにも負けず、リサイクル班のメンバーと楽しくアルミ缶回収を行っています。興味がありボランティアを希望する人がいれば、月・金のAM10:00から上三川の日産の寮で行っていますので、遊びに来てネ！大歓迎です。

増山 美津枝

びっくり市バザーに参加して こぶし作業所

第4日曜日の8月27日9時。心配された昨夜の雨も上がり、薄曇りの中、恒例の卸売団地内びっくり市バザーこぶし作業所のお店が、職員、保護者、ボランティアの人達、14名のご協力を得て、開店しました。

玉ねぎが売れたのを皮切りに、食料品、雑貨、衣類、とお客様との間で「いらっしゃい」「いかがですか」「ありがとうございます」などの対話の中で、売り上げも順調に伸びました。12時過ぎには、食料品が完売、引き続き雑貨衣類の販売を重ね、1時過ぎ職員の方の撤収の声で閉店、後かたづけ開始、売り上げ集計、67,720円をお聞きし、お互いにご苦労さまと声を掛け合い、心地よい疲れと満足感を味わいつつ、無事終了致しました。

そして、こぶし作業所の関係者の方々のお力の素晴らしさと、お客様を始め後援会の皆様の作業所、利用者に対する思いの深さを再認識することができました。

改めて、参加できましたことを嬉しく思い、関係者の皆様に感謝申し上げます。

シルバー大学校 田崎・宇賀神



九月九日(土)ダンスパーティを開催しました。大勢の方が参加してくださいました。どうもありがとうございました。(みらいの会)

募集

こぶし作業所 チャリティーバザー

(オリオン通り・11月頃開催予定)

衣類・食器・食料品など募集中です。
当日のボランティアも大募集です。
ご協力をお願いします。

社会福祉法人
こぶしの会

- こぶし作業所 知的障害者通所授産施設 ☎321-0902 栃木県宇都宮市柳田町1401
TEL 028 (662) 1911 FAX 028 (662) 1912
TEL 028 (613) 5703
E-mail kobushi@chive.ocn.ne.jp
- 障害者生活支援センター 在宅障害者の相談・支援 ☎321-3235 栃木県宇都宮市鑑山町字東原146-7
TEL 028 (667) 5531
- こぶしのときわ荘 知的障害者グループホーム ☎321-0912 栃木県宇都宮市石井町字内野2867-3
TEL 028 (664) 0414
- く る み 知的障害者グループホーム ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2244
TEL 028 (687) 1040 FAX 028 (677) 5789
E-mail keyaki@carrot.ocn.ne.jp
- けやき作業所 知的障害者通所授産施設 ☎321-3303 栃木県芳賀郡芳賀町稲毛田1532
TEL 028 (677) 0495 FAX 028 (687) 4818
E-mail inageda@fancy.ocn.ne.jp
TEL 028 (687) 0311 FAX 028 (687) 0325
- 障害者サービスセンター 法人事務局
- 第2けやき作業所 精神障害者通所授産施設 ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2305-2
TEL 028 (677) 4430
- 県東ライフサポートセンター 精神障害者の相談・支援 ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井178
TEL 028 (677) 2876
- すずらんの家 知的障害者グループホーム ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井1204-4
TEL 028 (677) 0776
- けやきハイツ 知的障害者グループホーム ☎321-4363 栃木県真岡市亀山1043-23
TEL 0285 (81) 1155 FAX 0285 (81) 1177
E-mail selp-mirai@carrot.ocn.ne.jp
- 第2けやきホーム 精神障害者グループホーム ☎321-4364 栃木県真岡市長田字北原1451-2
- セルプ・みらい 知的障害者通所授産施設 ☎321-4305 栃木県真岡市荒町111-1
TEL 0285 (83) 2567 FAX 0285 (83) 2567
- ぼ て っ と 知的障害者グループホーム
- 真岡ひまわり共同作業所 精神障害者小規模共同作業所

編 集 後 記

第88回全国高校野球選手権大会優勝校は早稲田実業となり、またひとつ夏が終わりました。今回の大会のスローガンは「夏の仲間ありがとう」。

盆休みは、暇があれば高校野球中継をみていました。甲子園球場では真夏の太陽の下、その高校の応援団が自分のチームの勝利のために一生懸命応援している姿や、その応援団にスポットをあてたエピソードなどを聞くと、高校野球に込められた、一人ひとりの思いが大きな力となって戦っている選手を勇気づけているんだなあ、と感じました。

新聞などでは障害者自立支援法関連の記事がようやく誌面ににぎわすようになりましたが、この法律の根本的な問題である「応益負担」の問題も、一人ひとりの思いが、大きな力になっていくんじゃないか、そんなふうにあらためて感じる、今日この頃です。(E)

編集委員

上野 健二 枝 雅紀 廣本 佳奈子 矢板橋 敦 中村 慶彦